







使徒16:16~18 幾日もこんなことをするので、困り果てたパウロは、振り返ってその霊に、「イエス・キリストの御名によって命じる。この女から出て行け。」と言った。すると即座に、霊は出て行った。(18)

## れいてき とくし

少し前、アメリカ映画の俳優アンジェリーナ・ジョリーが内戦国家に特使として派遣されて、地域の難民問題を国際社会に広く知らしめるために難民国家を歴訪しているという記事が報道されたことがあります。このように、特別な任務を帯びて派遣される外交使節団を「特使」と言います。私たちは私たちが住んでいる町にイエス・キリストの霊的特使として派遣されたのです。与えられた任務は、この町にイエス・キリストの光を照らすことです。

これから私たちの町で伝道の門を見る目を開けるようにしてください。祈り、家の周辺にどんな宗教と偶像文化が占めているのかよく調べてみましょう。町の人の経済水準はどうか、心と精神とからどんな病気を持っているのかも確認してみましょう。このようなことを考えながら、この地域で活動する暗やみの勢力を打ち砕いて、神の国が臨むように祈ってみましょう。そのとき「ただイエス・キリストだね!」「当然イエス・キリストだね!」「イエス・キリストでなければだめだね!」という事実が発見できます。そうすれば、人と事件を通して伝道の答えと祝福を見るようになります。

3 Today

きょうのいのり

きょうの 伝道

きょうのみことば

1ペテ1:5

いのち1しよう かみさまのみことばを よもう!

☑️🕒🕒🕒 ていこくめいごに せいのうした チェックしよう

2012. 8. 11 (産業宣教メッセージ)

霊的問題をおさえることができる唯一の方法!  
それは、福音です。  
霊的問題によって苦しむ友だちの名前と霊的状態を書いてみましょう。  
その友だちに福音を伝えるために助けてあげることが出来る部分がないか書いてみて、実践しましょう。

なまえ :  
なまえ :  
なまえ :

てをあげる!

わたし、れいてき とくしとして呼んでくださってありがとうございます。私が住んでいる町の暗やみの勢力が崩れて、伝道の答えと祝福を味わうように導いてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン





創世記13:14~18 そこで、アブラムは天幕を移して、ヘbronにあるマムレの檜の木のそばに来て住んだ。そして、そこに主のための祭壇を築いた。(18)

すてる さいだん、 ちからを うける さいだん、 ほしょうされる さいだんを きずこう！

神様がくださる力で幸せだったアブラムは、ある日から神様に向かった信仰が薄くなっていって不安になって、結局は神様のみことばを置いておいて、自分の考えのとおり生活するようになりました。

アブラムは気がついて、急いで祭壇を築いて神様に礼拝をささげました。アブラムの時代に「祭壇を築いた」ということは「礼拝をささげた」ということです。アブラムは不信仰と人間主義、世の中の物質主義と霊的問題のために、神様を信じているのに、信仰生活がよくできないという事実を発見しました。それで、こういう愚かな問題を全部すててしまう祭壇を築きました。また、神様の力を受ける祭壇を築いて、戦争でも完全に勝利して、とても多くの財産も持つようになりました。それから後にはまことの未来を見る保証する力を受ける祭壇を築きながら、根源的、代表的、時代的、記念碑的、不可抗力的な祝福を受けました。また、神様のなさることをみことばで悟って、困難の中でも神様の計画を見る答えを受け、霊的頂上の座に上がりました。アブラムが築いた3つの祭壇をいっしょに築いてみましょう。

3 Today

きょうのみことば

しんげん1

いかに11歳かきまのこころをよもう！

きょうのいのり

きょうの でんどう



しゅうほうをつくらう

教会では文章を担当する人がいて、週報を作ります。今日、家庭礼拝の文章を担当する人になって「家庭礼拝の週報」を作ってみましょう。

家庭礼拝順序

- 司会: \_\_\_\_\_ レムナント
- 黙禱 ..... みんなで
- 賛美 ..... (194番) ..... みんなで
- 代表祈り ..... \_\_\_\_\_
- 聖書 ..... (創世記13:14~18) ..... みんなで
- みことば黙想 ..... みんなで
- 主の祈り ..... みんなで
- みことばフォーラム ..... みんなで

今日のみことばフォーラム

- ▶ パパ
- ▶ ママ
- ▶ お兄ちゃん、お姉ちゃん:
- ▶ 弟、妹
- ▶ 私



神様に祭壇を築く神様の子どもとして呼んでくださってありがとうございます。今日がまことの祭壇を築くはじまりになるように導いてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン











神様がくださった福音を朝に起きて、夜にねる前まで祈りで味わうことができるように集中力をください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



コロサイ 2:1~10 それは、この人たちが心に励ましを受け、愛によって結び合わされ、理解をもって豊かな全き確信に達し、神の奥義であるキリストを眞に知ようになるためです。このキリストのうちに、知恵と知識との宝がすべて隠されているのです。(2~3)

# キリスト〜！

おとなでも、子どもでも突然の危機の瞬間が近づけば、大部分が「ママ！」と叫びます。子どものために一生 涯 献身するママの大きい愛を受けて、それを無意識の内に記憶するためです。「ママ」ということばには「愛」という意味が刻まれています。

人間をととも愛しておられる神様は「罪人になって墮落した人間」をそのまま放っておくことができません。直接、人になってこの地に来られて、喜んで私たちの罪をみな負って十字架にかかって処刑されました。そして死なれて三日後にまたよみがえられました。このイエス様を救い主と認めて信じれば、すべての罪を許されて、神様の子どもとされると約束してくださいました。それだけでなく、聖霊様がわたしたちの中に入ってきて、永遠に責任をとって導いてくださると約束してくださいました。

これを「福音」と言います。福音は私たちを幸せにして、うれしくしてくれます。歳月がたくさん流れて、おじいさん、おばあさんになっても、福音はあいかわらず私たちの力となり喜びとなります。今日のみことばと祈り、伝道を通して福音をすてきに味わう伝道者の生活を始めましょう。

## 3 Today

きょうのみことば

しんげん3

きょうのいのり

きょうの でんどう

でいにくわいばいにていこうしんばをチェクしよう

いちにち「しんげん」のみことばを、まもろう！





おはなし もくそう!

# ドンくんが とてもよわく びょうきになっ たひ

「ミナミくん、終わったら先生とドンくんの家に行こう」

ドンくんが一週間も欠席だったので、先生はドンくんのクラスの子のミナミを連れてドンくんの家に向かいました。ミナミはドンくんの家がどこなのか、今まで知らなかったことを恥ずかしく思いました。先生は、ドンくんの家の住所を見て、人々にあちこち尋ねながら訪ねて行きました。ドンくんの家はとても高い山にあって、まばらに他の家が見えました。ドンくんは、山に家を建てて住んでいたのです。ドンくんの家についたら、どこかでチャラチャラという鈴の音が聞こえました。それはドンくんの家から出てくる音でした。ドンくんは縁側に横になっていて、ドンくんのママが霊媒師の服を着て遠い山に向かっておはらいの儀式をしていました。

「こんにちは。私はドンくんの担任の先生で…」

ドンくんのママは、こちらを向くこともなく、ずっとおはらいの儀式をしていました。先生とミナミは、なにもできず縁側に腰掛けて、横になっているドンくんを見ていました。ドンくんはとても弱く病気で苦しそうでし



た。先生はハンカチを取り出して、ドンくんのおでこを拭いてあげました。しばらくして、やっとドンくんのママのおはらいの儀式が止まりました。ドンくんのママは服とお供えをみな整理した後に私たちが来たことを分かりました。

「こんにちは。ドンくんの担任の先生です。ドンくんが一週間学校を休んだので、来てみました」

ドンくんのママはため息をつきました。ため息で出た長い息は力なく落ちました。「よくない姿を見せてしまいました。ドンがずっと病気なので…私もドンのように病気で苦しんだあと、霊媒師になる霊を受けたのです」

ドンくんはあいかわらず横になっていて、ミナミはドンくんを見つめるしかありませんでした。先生はドンくんを病院に連れて行こうと言ったのですが、ドンくんのママが強く断りました。ミナミは家に帰っても、ドンくんの横になっている姿が思い出されました。模範的だったのですが、いつも暗い表情をしていたドンくんを思い出しました。ドンくんのママのように、ドンくんも霊媒師になるかと心配でした。

「ぼくは、なぜ一度もドンくんにイエス様がキリストだと言わなかったのかな」

ミナミはドンくんを書く便せんを広げました。しばらく考えて、はじめの文章を書きました。

「主イエスを信じなさい! そうすれば、あなたとあなたの家族は救われます」



3 Today

きょうの いのり

きょうの てんどう

きょうのみことば

しんげん4

いちにち、1しゅう、かみさまのみことばを、1かきし

いこくわいはに せいこうらら チェックしよう

